

令和2年度事業報告

当財団は令和2年1月31日に設立準備会を開催し、令和2年2月1日から、財団定款に定められた事業を行うための準備作業が行い、令和2年4月1日より正式に財団としての活動を開始しました。従って今回が財団としての活動の最初の報告となります。

当財団定款第4条には、事業として下記の7項が規定されています。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">(1) 八戸高専卒業生が八戸高専産業技術振興会会員に再就職する時の支援(2) 八戸高専産業技術振興会会員へのインターンシップ及び就職希望者の支援(3) 八戸高専学生が海外研修する場合の支援(4) 八戸高専が海外から受け入れる留学生への支援(5) 八戸高専が受託する研究委託の中継ぎ(6) 青森県中学校等の科学技術教育等に貢献した者若しくは学校の顕彰(7) その他、八戸高専における教育・研究等の支援 |
|---|

- (1) 八戸高専卒業生が八戸高専産業技術振興会会員に再就職する時の支援
- (2) 八戸高専産業技術振興会会員へのインターンシップ及び就職希望者の支援

財団として全卒業生のうち住所が明らかになっている卒業生に当該事業に関するリーフレットを送付した結果、令和2年度は合計16名から問い合わせをいただきました。15名が民間企業勤務、1名が国家公務員で、勤務先は東京都内10名、青森県内4名、不明2名、卒業学科別ではEコース8名、Zコース6名、Mコース及びCコース各1名でした。このうち実際に再就職支援を希望したのは11名で、7名が再就職（都内企業1社、八戸市誘致企業2名、八戸市地元企業4社）、2名は再就職を希望するも希望企業の採用予定がなかったり、あるいは転職回数が多すぎるとの理由で希望を遂げられないでいます。残り2名は1名が公務員希望に切り替え、1名は紹介した青森市内企業へ個人的に就職活動をするとのことでした。

令和3年度は現時点で5名の再就職希望者があり、「株式会社ようひューマンネットワーク」との連携のもとに企業との接触を行っています。

- (3) 八戸高専学生が海外研修する場合の支援

八戸高専学生の海外研修支援については、「八戸高専学生海外研修奨励賞に関する規則」を制定し、優れた学生に対して奨励金を支給して、国際自主探求等の海外研修の機会を提供し、豊かな感性と国際性を持つ人材の育成につとめることを目的とし、令和2年度は2名程度の学生に対し、海外研修に必要な航空機・宿泊代、学会参加費、パスポート申請費等の費用として、1人あたり最高25万円を支援する計画であったが、新型コロナウイルスの影響で、実績は発生しませんでした。

- (4) 八戸高専が海外から受け入れる留学生への支援

八戸高専におけるグローバルエンジニア育成を目標とした国際化教育の一環としての国際交流活動における、海外からの留学生、訪問者等への支援を行うために「八戸高専受入れ留学生の支援にかかる指針」を制定しました。令和2年度は留学生交流会・懇談会、タイ人留学生歓迎会、お正月体験等8回の事業に支援しました。

(5) 八戸高専が受託する研究委託の中継ぎ

研究委託の中継ぎについては、八戸市及び三戸郡の企業を訪問し、当研究会の事業内容を説明するとともに、抱えている課題のヒアリングを行いました。

八戸高専の支援を受けたクラフトビール製造においては、企業が今月6月の初出荷を行う計画であり、また新型コロナの影響で対面販売が困難なため、ネット販売システムの構築を行っている。

コンクリートブロックの製作に挑戦中の企業からは、その表面を産業廃棄物（あわび貝殻破砕品）でコーティングした敷石の評価について相談を受けた。

(6) 青森県中学校等の科学技術教育等に貢献した者若しくは学校の顕彰

青森県および岩手県北の中学校校長あてに推薦依頼を依頼したところ、下記2件の推薦があった。

- ・青森県中泊町立中里中学校 西巻伸洋教諭
- ・八戸市中学校理科教育研究会

この2件について選考委員会で審議し、両者を表彰することに決定し、賞金各10万円を授与した。

(7) 八戸高専の教育・研究等の支援

「八戸高専の会議費支出にかかる指針」により、従来教員が自己負担することの多かった、教育・研究等の業務を遂行するために開催する会議等において必要な飲食物を提供するための経費として、令和2年度はロボコン東北大会、ロボコン全国大会、体験入学、サイテックフェスティバル等、合計9回の行事に約40万円を支援した。